



3.5 インチ SATA ハードディスク専用

3.5" Portable HDD Enclosure

Where do you store your value - anywhere!



USB2.0

eSATA

FireWire 400

FireWire 800

ユーザーマニュアル



Data Watch Technologies Co., Ltd. / Onnto Corporation

目次

概要	3
著作権	3
告示と分類	3
お問い合わせ	3
はじめに	5
特徴	5
動作環境	7
PC	7
MAC	7
オプション・アクセサリ（別売）	7
パッケージ内容	8
製品外観	9
前面	9
背面	10
本製品の組み立て	11
コンピューターとの接続	15
複数機器の接続	16
簡単で便利な持ち運び	17
外付けデバイスからのシステム起動	18
PC	18
MAC	18
ESATA PCI EXPRESS カードの導入 <別売品>	19
動作環境	19
機器の取り付け	19
ドライバのインストール	20
ドライバの認証	20
Mac OS:	20
Windows OS:	20
Windows 2003 と XP:	21
Windows 2000:	21
Q&A	22
ハードディスクの容量	22
ハードディスク容量の違い	22
付録：仕様	23

概要

著作権

本書は ONNTO CORPORATION の著作物です。したがって、本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載することは法律で禁止されています。



このマニュアルで提供される製品仕様、デザインなどを予告せず変更する場合があります。内容には万全を期しておりますが、誤記、記載漏れなどがありましたら、弊社までご連絡ください。

告示と分類

FCC-B クラス機器の無線周波障害に関して

このデバイスは、FCC（連邦通信委員会）規則パート 15 に準拠しています。この装置の動作は、以下の 2 つの条件に準拠します。

この装置は、無線周波障害を引き起こしてはならない。
この装置は、あらゆる無線周波障害に対して対応できなければならない。これには、望ましくない動作を引き起こす可能性のある無線周波障害も含む。



この装置は、FCC 規則パート 15 のクラス B デジタル機器に対する制限に準拠することが試験により確認されています。これらの制限は、装置が商業環境下で使用される際に有害な無線周波障害に対して十分な保護を提供することを目的としています。この装置は無線周波エネルギーを発生、使用ならびに放射するものであり、指示マニュアルの記述に従って設置および使用しなければ、無線周波障害によって無線通信を妨害する可能性があります。

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせは、ウェブサイトより受け付けております。また、ウェブサイトの「製品 FAQ」よりよくある事例をご確認いただけます。

ONNTO Corporation / Data Watch Technologies Co., Ltd.

3F, No. 60, Lane 321, Yang Guang St., Nei Hu, Taipei 114 Taiwan

Tel: +886-2-8797-8868

Fax: +886-2-8797-4801

Email: question@onnto.com.tw / question@datawatchtech.com

Web: <http://www.onnto.com> / <http://www.datawatchtech.com>

使用上の注意

- ◆ RAID ケースの主要回路基板は、静電気の影響を受けやすい部品です。本製品やコンピュータを含む接続機器に対する電気的な損傷を防止するため、適切なアース接続によって静電気を逃がす必要があります。本製品は常に平らな面にしっかりと置き、使用中に急激な動きや振動、衝撃などを与えないようにしてください。
- ◆ 本製品使用の際は、周辺機器やパソコンメーカーの提示する警告、注意事項等を守ってください。
- ◆ 本体を濡らしたり、濡れた手でさわらないでください。
- ◆ 本製品を強い電磁波を発する機器(携帯電話など)、高圧機器（ドライヤーなど）、熱を発する物（ストーブなど）のそばに置かないでください。また、直射日光の当たる場所、湿気やホコリが多い場所には置かないでください。
- ◆ ご使用のコンピューターによっては、新たにインターフェイスを取り付ける必要があるものもあります。
- ◆ ご自分で改造、修理、分解をしないでください。感電、火災、やけど、故障などの原因となることがあります。
- ◆ 通気口をふさがないでください。適切な熱排気が行われないと、オーバーヒートにより故障の原因となります。
- ◆ 環境保護の観点から、本製品を使用中でないときは、電源プラグを抜いてください。
- ◆ ケーブル類は本製品に付属しているものをお使いください。

はじめに

DataTale ポータブル 3.5 インチハードディスクケース（以下、本製品と呼びます）をご購入いただきありがとうございます。本製品は持ち運びに便利で、取り扱いが簡単なハードディスクケースです。

本マニュアルは下記モデル共用のものとなります。

- 🔗 TQ-M12H (SATA-eSATA/USB 2.0/FireWire 400/FireWire 800 コンボ)
- 🔗 TD-M11H (SATA-eSATA/USB 2.0 コンボ)



ご使用前に、本マニュアルをよくお読みください。取り扱いを誤ると、本製品、接続された機器類を破損することがあります。



FireWire は IEEE1394、i.Link と表示されることもあります。

特徴

- 🔗 SATA II および、SATA1.0、SATA1.0a のハードディスクに対応
- 🔗 eSATA、USB2.0、FireWire400 (TQ-M12H のみ)、FireWire800 (TQ-M12H のみ) ポート搭載
- 🔗 デイジーチェーンに対応 (TQ-M12H のみ)
- 🔗 プラグアンドプレイで簡単操作
- 🔗 スピンドアウン/スピニアップ機能対応で省電力を実現
- 🔗 締め過ぎ防止機構付ネジでハードディスクへのダメージを予防
- 🔗 リアケースなしのデザインとアルミキャビネットで効果的な熱発散
- 🔗 ウレタンエッジガイドで滑り止め
- 🔗 SmartGuider とユーザーフレンドリーな設計で、簡単にハードディスクを取替え
- 🔗 持ち運びの際に、しっかりハードディスクを固定するツイストロックを採用



本製品を使用中にデータが破壊、消失した場合でも、データの保証は一切できません。あらかじめご了承ください



SmartGuider はハードディスクケースのこれまでのトレーや付属品に代わるものとしてデザインされました。拡張ハンドルと締め過ぎ防止機構付きネジで

誰でも簡単に設置が可能。ドライバーでハンドルをハードディスクにつけるだけです。これにより、ハードディスクの本製品への着脱が簡単にできます。

動作環境

本製品をご使用するためには以下のパソコン環境が必要です。

PC

- ✚ 266MHz 以上の CPU (Windows Vista の場合は、800MHz 以上が必要です)
- ✚ 64MB の RAM (Windows Vista の場合は 512MB 以上の RAM が必要です)
- ✚ Microsoft Windows 2000、XP、2003、Vista
- ✚ 利用可能な eSATA ポート、USB 2.0 ポート、FireWire400 ポートもしくは、FireWire800 ポート (モデルにより異なります)

MAC

- ✚ Macintosh PowerPC、もしくは Intel Core Duo プロセッサ
- ✚ 64MB の RAM (Mac OS X 10.4 の場合は 256MB 以上の RAM が必要です)
- ✚ Mac OS 10.2 かそれ以上 (PowerPC)、または Mac OS X 10.4 かそれ以上 (Intel)
- ✚ 利用可能な eSATA ポート、USB 2.0 ポート、FireWire400 ポートもしくは、FireWire800 ポート (モデルにより異なります)



3.5" インチ SATA 互換のハードディスクドライブが必要です。フォーマット後の容量、OS により表示される容量が異なります。(5-10%少ないことが多い)

オプション・アクセサリ (別売)

- ✚ eSATA PCI, PCI-X, PCI-Express Card



T-PI2S



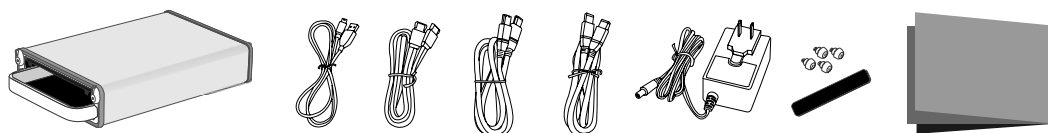
T-EC2R



T-EC2S

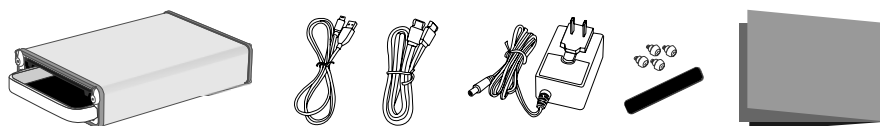
パッケージ内容

TQ-M12H




- 本体 (ハンドル付き)
- USB A-B ケーブル
- IEEE 1394a ケーブル
- IEEE 1394b ケーブル
- eSATA ケーブル
- AC/DC アダプター
- ハードディスク固定
ネジ 4 個
- 遮熱テープ
- クイックスタートガイド

TD-M11H



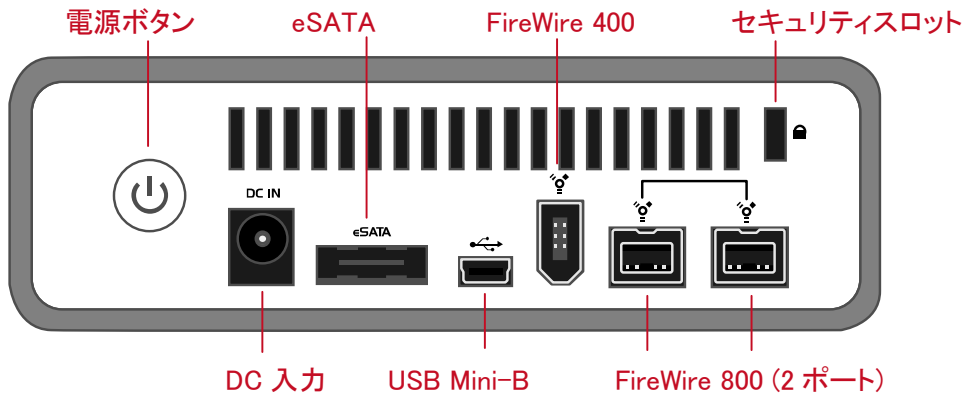
- 本体 (ハンドル付き)
- USB A-B ケーブル
- eSATA ケーブル
- AC/DC アダプター
- ハードディスク固定
ネジ 4 個
- 遮熱テープ
- クイックスタートガイド

 万一、製品を返却するときのために、付属品、パッケージ等は保存して置いてください。それぞれのモデルで内容物は異なります。

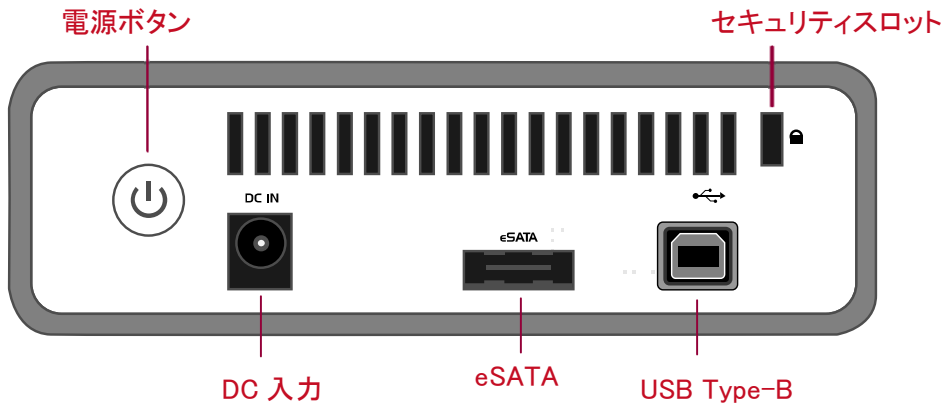
製品外観

前面

TQ-M12H SATA-eSATA/USB 2.0/FireWire 400/FireWire 800



TD-M11H SATA-eSATA/USB 2.0

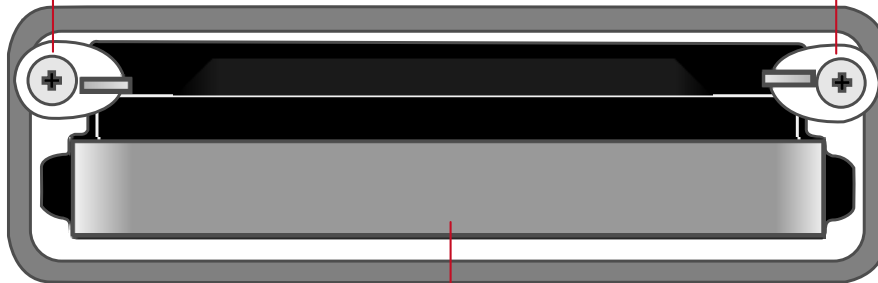


 電源ボタンは現在の状態を表示します。

背面

ツイストロック(ロック状態)

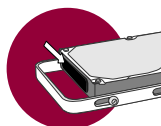
ツイストロック



ハンドル

本製品の組み立て

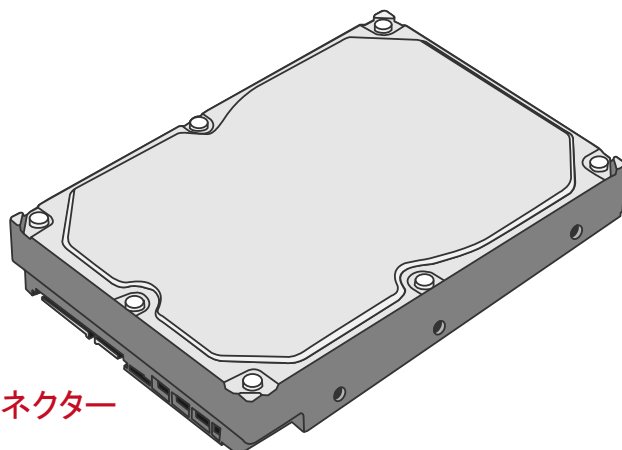
下記の手順で 3.5 インチの SATA ハードディスクを組み込むだけで本製品をご使用いただけます。



動作中、動作後のハードディスクは高温です。本製品では外側ケースを熱発散機構の一部として使用し、リアケースを無くすことで放熱性を高めています。直接高温のハードディスクドライブに触れることを予防するため、組み立て前に付属の遮熱テープをハードディスクドライブに貼り付けてください。

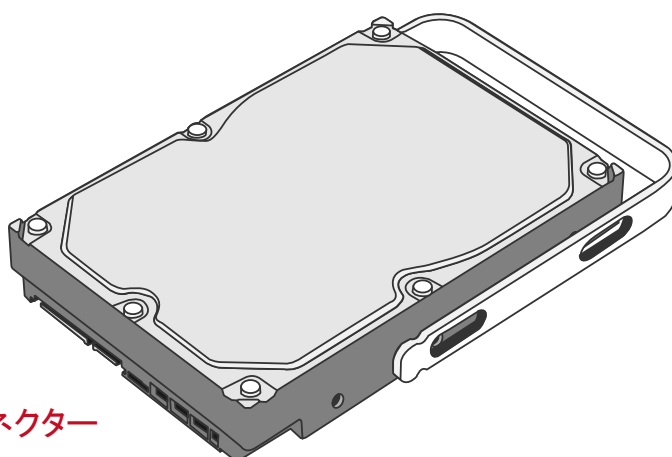
(ハンドルをハードディスクに固定する)

1. ハードディスクを金属カバーの面を上、インターフェイスが左に来るようにします。



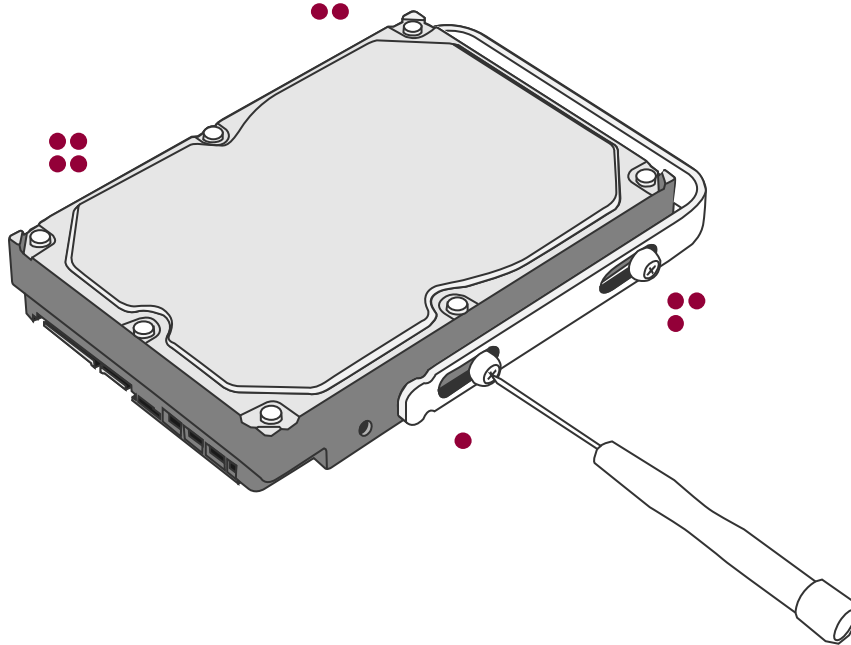
コネクター

2. ハンドル (SmartGuider) を下図のようにコネクターと反対側に設置、ネジ穴を合わせます。

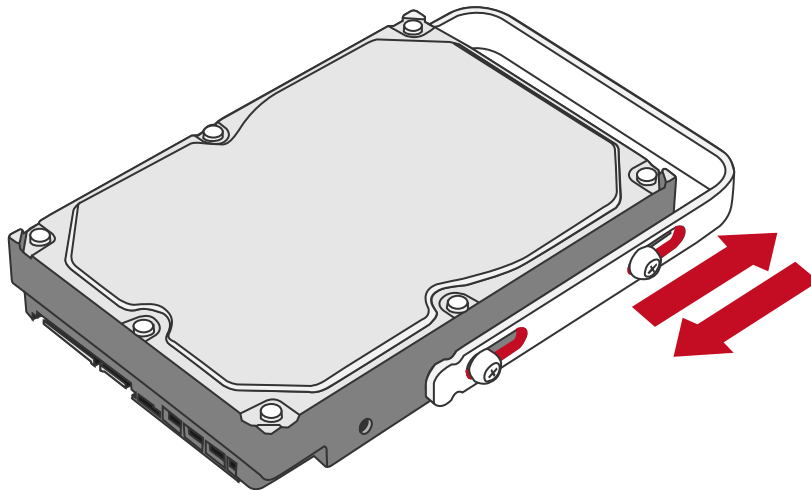



コネクター

3. 付属品のハードディスク固定用ネジを取り出します。ネジを下図の順番に締めていきます。



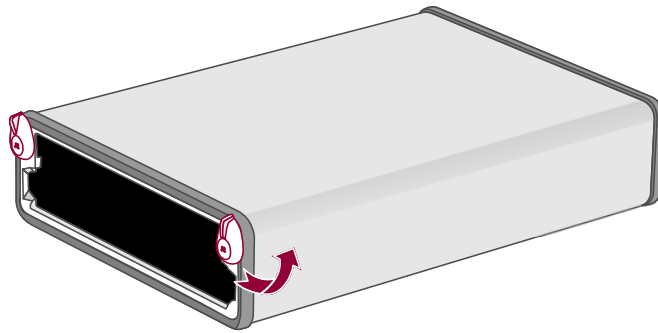
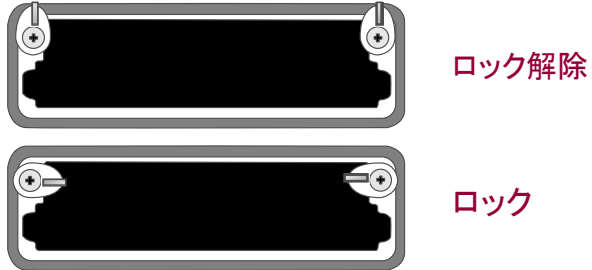
4. ハンドルがスムーズに上下するか確認します。



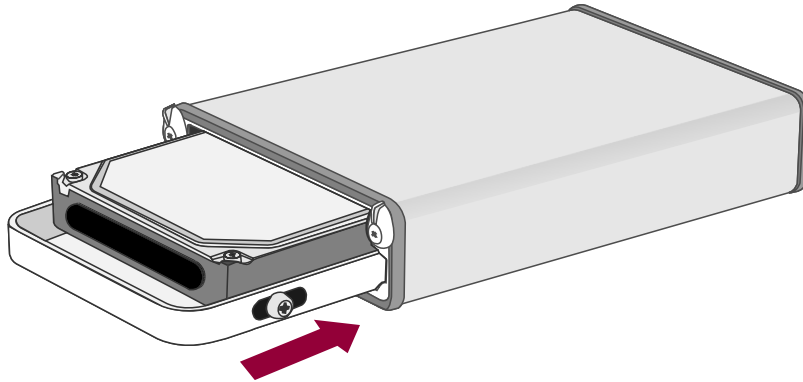
 パッケージには、SmartGuider ハンドルと固定用ネジが 4 個付属しています。締め過ぎ防止機構付ネジは締めすぎによりハードディスクが破損するのを防止するようデザインされています。同時に、SmartGuider が滑らかに動くようにできています。


(ハードディスクをケースに入れる)

5. 後部（開いているほう）を手前に向け、ツイストロックが解除されていることを確認します。

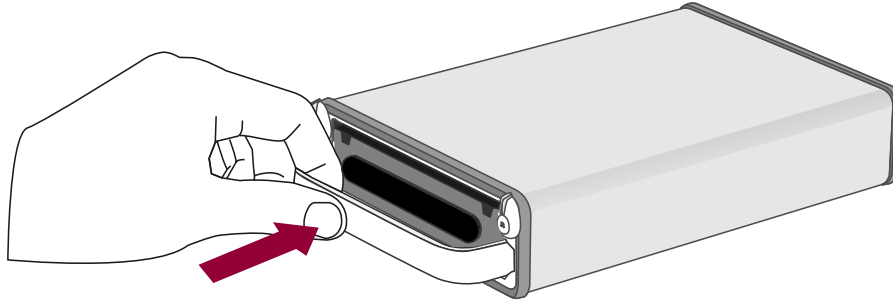


6. ハンドルを取り付けたハードディスクをガイドレールに沿って挿入します。

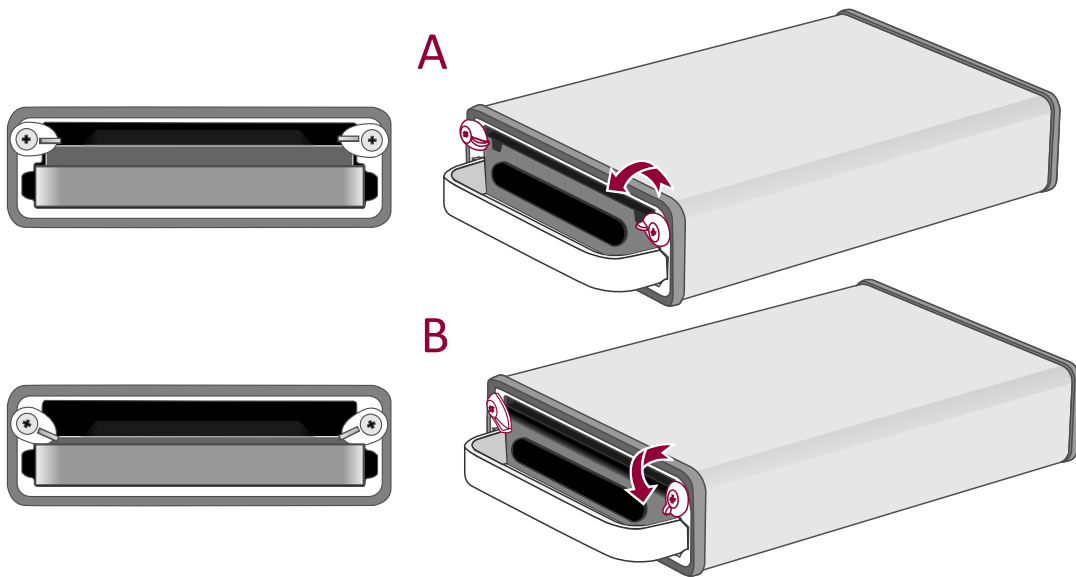


 この作業の前に、遮熱シールを貼っていることを確認してください。ハードディスクが反対になっている場合は、挿入できないようになっています。

7. ガシャッと音がするまで、ハードディスクをスライドさせて、コネクタにきちんと接続されていることを確認します。




8. 標準サイズのハードディスクの場合、ツイストロックを90度内側にひねり固定します。小型のハードディスクの場合、内側に140度ひねり、固定します。
(下図B参照) ツイストロックが「ロック」状態であることを確認すると、これでコンピューターに接続する準備ができました。

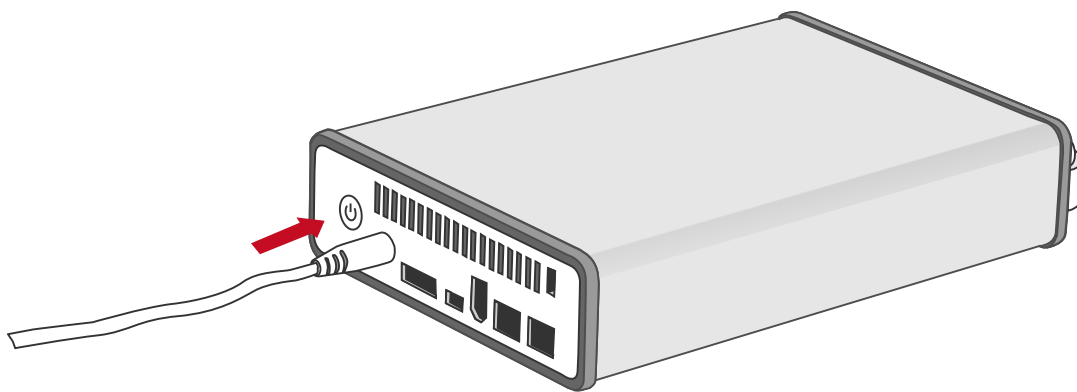


コンピューターとの接続

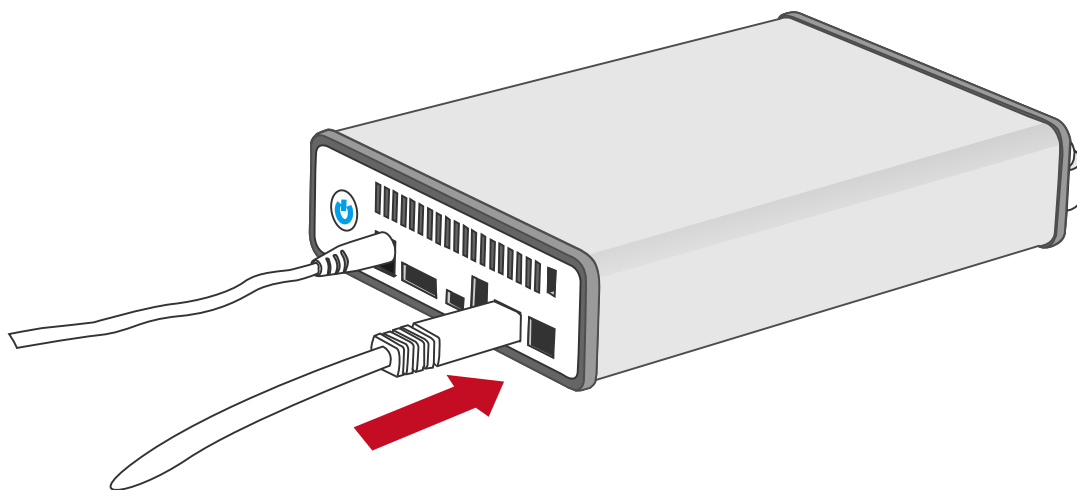
下記の手順で本製品をコンピューターに接続します。


 本製品はいずれかのインターフェイスひとつでコンピューターに接続します。複数のインターフェイスでの接続はできません。同時に複数のインターフェイスで接続した場合は、コンピューターが本製品を認識しません。

1. AC/DC アダプターをケースに接続します。電源ボタンを押し、LED ランプが点灯（青色）していることを確認します。

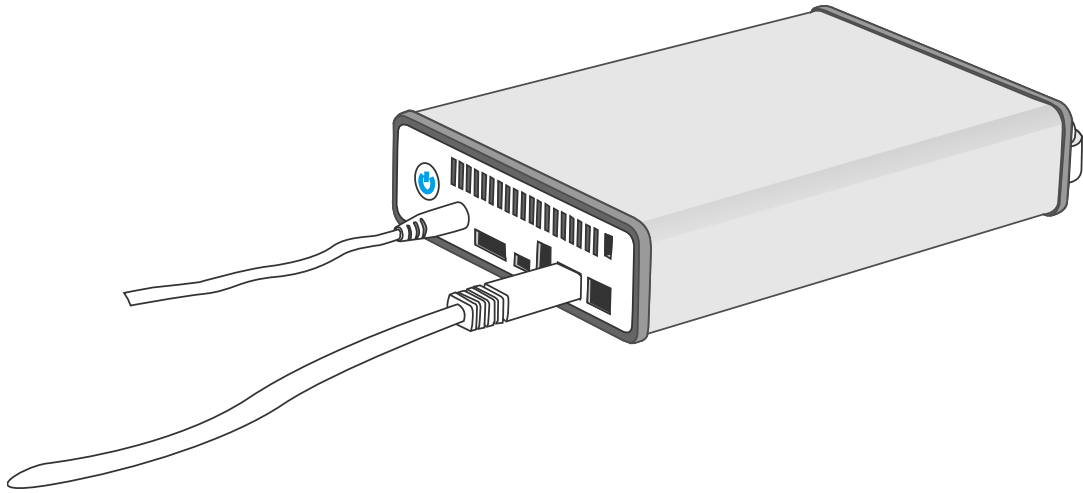


2. USB 2.0、eSATA、または FireWire 400/800 コネクタにケーブルをつなぎ、もう一方をコンピューターに接続します。



 互換性の問題から、eSATA で接続する場合は Silicon Image 社製の eSATA ホストコントローラを使用することを推奨します。

3. 本製品が外付けハードディスク装置としてコンピューターに認識されます。ハードディスクドライブにアクセス中のときは、電源ボタンのLEDが青色に点滅します。



複数機器の接続

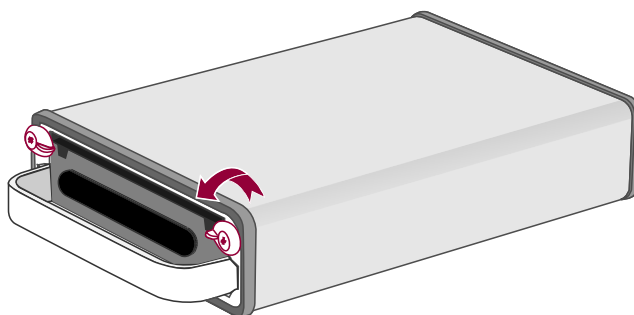
本製品はデジチェーンに対応していますので、FireWire400/800でほかのデジタル機器（デジタルビデオカメラ、ほかのハードディスク、DVD機器など）と接続できます。この機能を利用するには、同じインターフェイスで接続する必要があります。複数の異なるインターフェイスで接続した場合は、コンピューターが機器を認識できません。また、異なるインターフェイス（たとえば、FireWire400とFireWire800）で接続した場合、速度は遅いほう（ここではFireWire400）の転送速度となります。



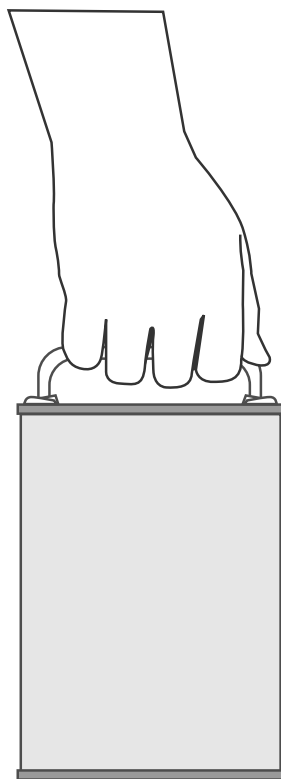
eSATA、USBでの接続ではデジチェーンは利用できません。

簡単で便利な持ち運び

1. 持ち運び中などにハードディスクがケースから外れないようツイストロックをまわして、しっかりと固定します。



2. これで、簡単にどこへでも持ち運びができます。



外付けデバイスからのシステム起動

外付けハードディスクからのシステム起動については、下表をご参考ください。

PC

	USB 2.0	FireWire	eSATA
Windows	不可	不可	可
DOS	可	不可	可
Linux	不可	不可	可

MAC

		USB 2.0	FireWire	eSATA	
				ドライバ 内蔵	ドライバ 内蔵でない
Power PC CPU (G4以降)		不可	不可	可	不可
Intel CPU	CoreDuo	可	不可	可	不可
	Core2Duo 以降	可	可	可	不可



eSATA ポートを装備しない PC で、新たに eSATA カードを増設する場合は、OS の標準ドライバで対応できるカードを選んでください。

eSATA PCI EXPRESS カードの導入 <別売品>

eSATA PCI Express カードを導入して、RAID システムを使用する際は、手順に沿って PCI Express カードを取り付けてください。

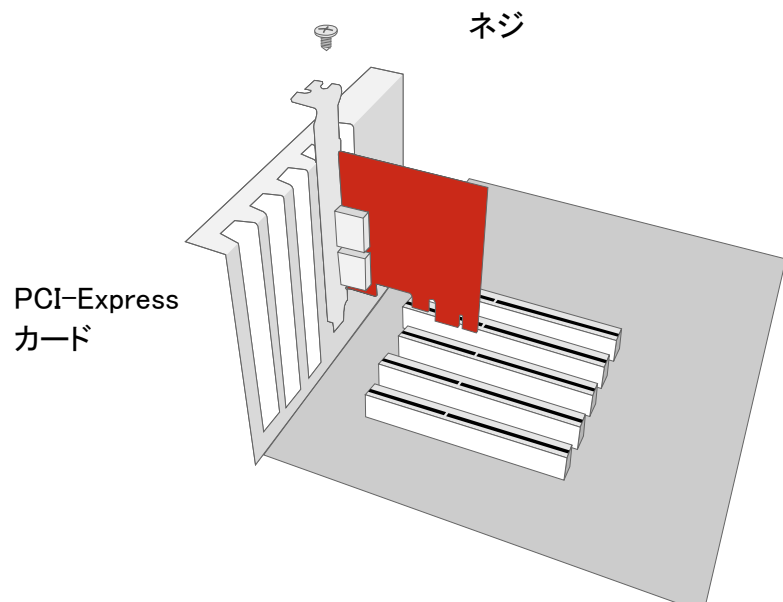
動作環境

- ✚ Windows 2000 Service Pack 4 以上
- ✚ Windows XP Service Pack 2 以上
- ✚ Windows 2003 Service Pack 1 以上
- ✚ Mac OS 10.4.x 以降
- ✚ 利用可能な PCI-Express スロット
- ✚ CD-ROM もしくは DVD-ROM ドライブ

機器の取り付け

1. コンピュータの電源をオフにして、電源ケーブルを抜いてください。
2. ケースカバーをはずし、利用可能な PCI-EXPRESS スロットを確認します。
3. スロットにさしこみ、しっかり固定されているか確認してください。
4. ケースカバーなどを元に戻します。

コンピューター
の拡張スロット



ドライバのインストール

下記の手順で、ドライバをインストールしてください。

Windows の場合、「新しいハードウェアの検出ウィザード」ドが自動的に立ち上がります。ドライバインストール用の CD をいれ、指示に沿ってドライバをインストールしてください。

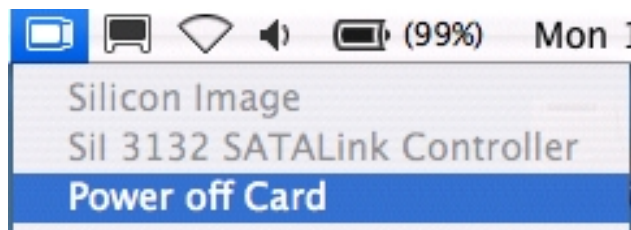
Mac の場合、ドライバインストール用 CD をいれ、指示に従って Mac 用ドライバをインストールしてください。



詳しくはウェブサイトから eSATA ホストカードのユーザーマニュアルをダウンロードしてご覧ください。

ドライバの認証

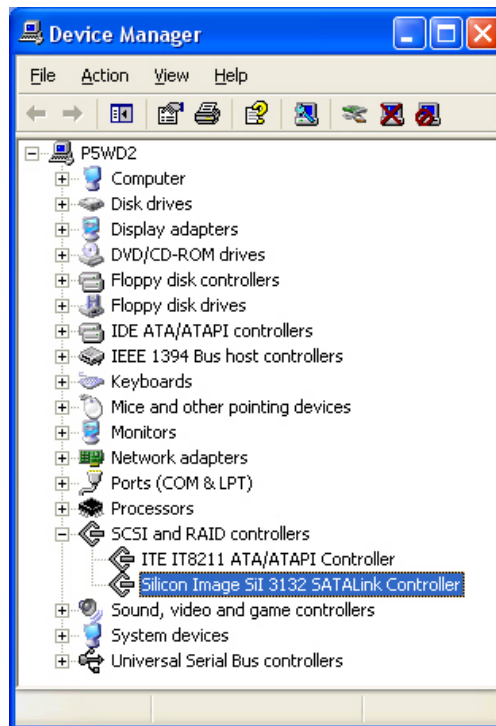
Mac OS:



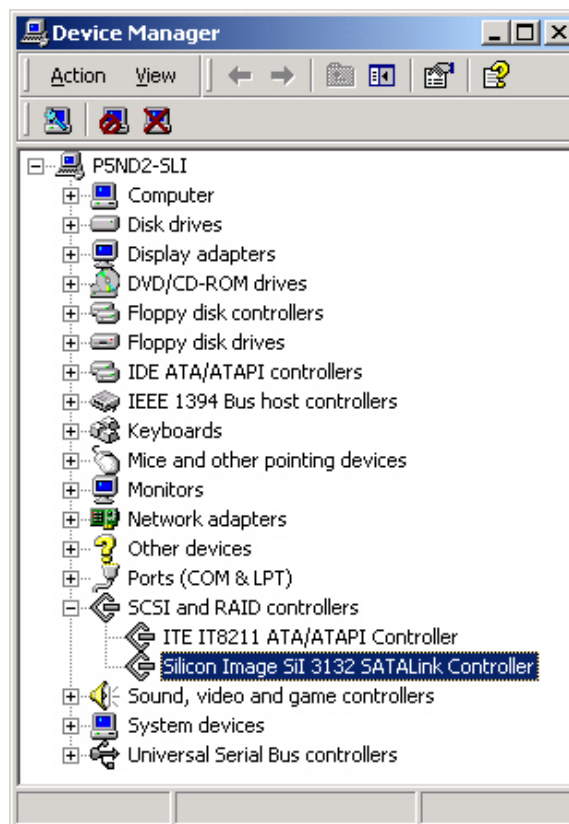
Windows OS:

1. マイコンピュータを右クリックし、「管理」をクリックします。
2. リストから「デバイスマネージャー」を選択します。
3. SCSI と RAID コントローラーをクリックします。
4. **SiI 3132 SATALink Controller** が下図のように表示されます。

Windows 2003 と XP:



Windows 2000:



Q&A

ハードディスクの容量

Q: 所持しているハードディスクはすべて 1TB 以上のものですが、本製品は対応していますか？

A: Yes, the Enclosure will be able to support any HDD over 1TB size capacity.

Q: Mac でも WindowsPC でも読める FAT 形式でハードディスクをフォーマットしたいですが、容量の制限はありますか？

A: あります。下の表を参考にしてください。

ファイルシステム	NTFS	FAT32	FAT (Win2000 / WinXP)	FAT16
容量制限	Vista: 16384TB XP: 2TB	Windows: 32GB Mac: 2TB	4GB	2GB

ハードディスク容量の違い

Q: 320GB のハードディスクを使用したとき、なぜ認識されるハードディスクの利用可能容量が 320GB より小さいのでしょうか？

A: 多くの方が実際の容量と OS が表示する容量との違いに困惑しますが、それは計算方法が異なるために、減少して見えます。実際には 2 つの計算方法があります。

2 進法: 1 キロバイト = 1024 バイト

10 進法: 1 キロバイト = 1000 バイト

一般的にハードディスクに表示されているのは、10 進法での容量で、OS 上で表示されるのは 2 進法です。

例:

仕様容量: 約 360GB → OS 上表示容量: 約 343GB

付録：仕様

モデル名	TQ-M12H	TD-M11H
コネクタ	eSATA x 1, USB 2.0 x 1, 1394a x 1, 1394b x 2	eSATA x 1, USB 2.0 x 1
対応ハードディスク	3.5" SATA HDD	3.5" SATA HDD
データ転送速度 (理論値)	eSATA: 最大 3Gbps USB 2.0: 最大 480Mbps 1394a: 最大 400Mbps 1394b: 最大 800Mbps	eSATA: 最大 3Gbps USB 2.0: 最大 480Mbps
材質	アルミキャビネット+プラスチックパーツ	
状態表示	電源ボタン	
電源	入力: AC 100-240 V 出力: DC +12V/1.5A	
寸法	183 (L) x 127 (W) x 40 (H) mm	
重量 (ハードディスク は含まない)	430 g	415 g
取得規格	CE, FCC	CE, FCC



DataTale ポータブルケースは DataTale 2 ベイ / 4 ベイ RAID システムと組み合わせると、効果的にお使いいただけます。RAID システムを JBOD モードまたはミラーモード (RAID 1) でお使いの場合、それぞれのハードディスクをポータブルケースにさしかえて、単独で読み込むことができます。ディスク交換は SmartGuider ハンドルで引き出して、入れ替えるだけです。